

場 所	正	誤
p.22 下から2行目	式 3	式 2
p.156 式(12)	$E^{\circ'} = E^{\circ} + \frac{RT}{nF} \ln \frac{c_{\text{O}}(0,t)}{c_{\text{R}}(0,t)}$	$E = E^{\circ'} + \frac{RT}{nF} \ln \frac{c_{\text{O}}(0,t)}{c_{\text{R}}(0,t)}$ <p>左辺の E の添字を取り, 右辺の E° にダッシュ (') を付ける.</p>
p.188 左: 異方性	isotropy	isotropic
p.190 左: 吸光度	光路内に光を吸収する物質が存在する場合, この物質が光を吸収する度合いを表す量. 吸収により光の強度 I_0 が I に変化した場合, 吸光度 A は $\log_{10}(I_0/I)$ で表わされる.	光が透過する割合を対数であらわしたもの.
p.190 左: 光学異性体	互いに鏡像関係にあり, 重ね合わせることでできない関係にある異性体. 右手と左手の関係と同じであり, 鏡像異性体 (エナンチオマー) とも呼ばれる. 物理的・化学的な性質は, 旋光性を除いて同じである.	互いに鏡像関係にあり, 重ね合わせることでできない関係にある異性体. 右手と左手の関係と同じ.
p.190 右: コンプトン散乱	Compton scattering	Compton diffraction
p.190 右: 質量保存の法則	反応物 (reactants) の全質量と生成物 (products) の全質量	反応物の全質量と生成物の全質量
p.191 左: シンクロトロン	を取りだす光源 (シンクロトロン放射光施設=光源と考える)	を取りだす光源
p.192 左: 定性分析	qualitative	quaritative
p.193 左: 波動関数	振幅, 周期, 位相情報を含んでおり, 重ね合わせの原理を満たす.	振幅, 周期(振動数), 位相情報を含んでいるため, 重ね合わせの原理を満たす.
p.193 右: 不確定原理	uncertainty	uncertainly

p.193 右：輻射	これが異なる状態に遷移するとき	これが異なるに状態に遷移するとき
p.194 左：分解能	近接する2つの線などを分離して認識できる能力.	接近する波長に複数の成分の分析線が存在する場合, それぞれの分析線を一つの分析線として分離することができる能力.
p.194 左：放射性同位元素	放射性同位体 (radioactive isotope).	放射性同位元素 (radioactive elements)